

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 30日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者

住 所 福島県白河市双石広久保1番地

氏 名 住友ゴム工業株式会社白河工場

工場長 河合 亨

電話番号 0248-22-3311



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

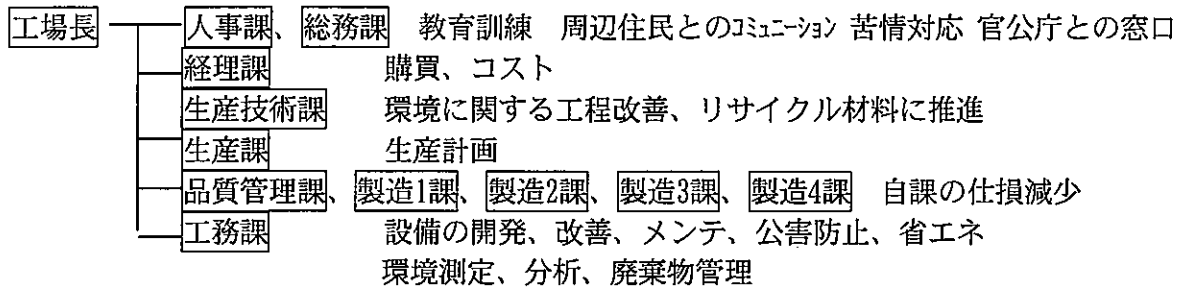
事業場の名称	住友ゴム工業株式会社 白河工場
事業場の所在地	福島県白河市双石広久保1番地
計画期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	自動車用タイヤ製造業
②事業の規模	製造品出荷額等 126,714百万円 (令和4年度)
③従業員数	1,625人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	→ 別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	504 t	4,220 t
	（これまでに実施した取組） 汚泥 処理設備の更新及び定期補修 廃プラスチック類 徹底分別による有価リサイクルの推進		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	489 t	4,094 t
	（今後実施する予定の取組） 汚泥 減容率の向上、油泥の再利用 廃プラスチック類 有価リサイクル引き取り先の開拓		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	排出量	23 t	137 t

	(これまでに実施した取組) 木くず サイズを揃えて複数の再使用業者に売却 廃油 浮上油回収装置の設置 油圧設備の漏れ防止		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	排 出 量	22	133 t
	(今後実施する予定の取組) 木くず プラスチック素材への材質変更 廃油 油圧設備の漏れ防止		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類（廃タヤ）
	排 出 量	2 t	6,460 t
	(これまでに実施した取組) ガラス・陶磁器くず 飲料空瓶の業者返却 LED管球への更新 廃プラスチック類（廃タヤ） 空調管理、原材料品質管理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類（廃タヤ）
	排 出 量	2 t	6,266 t
	(今後実施する予定の取組) ガラス・陶磁器くず LED管球への更新 廃プラスチック類（廃タヤ） 設備精度向上		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	t	t

	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥 脱水機での水分、油分除去、設備更新
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥 不純物の混入防止

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類 種類別の置場管理、新規買取業者の開拓
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類 材質変更 (スチール、プラスチック化)

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず 外部倉庫でサイズ別の集約
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず 業者への返品による再使用率の向上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（ポリ）	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4,041 t	t
	（これまでに実施した取組） 設備能力の改善（再生量向上）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（ポリ）	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3,920 t	t
	（今後実施する予定の取組） 再生原料の購入（循環資源活用）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（廃タイヤ）	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	6,460 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3,029 t	t
	（これまでに実施した取組） 耐火レンガの更新		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（廃タイヤ）	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	6,266 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2,938 t	t
（今後実施する予定の取組） 燃焼効率の改善 給水加熱器の更新 製品仕損量の削減活動			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第5面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	504 t	179 t
	優良認定処理業者への処理委託量	52 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	452 t	179 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥 処理設備の更新及び定期補修 廃プラスチック類 徹底分別による有価リサイクルの推進		
②計画	【目標】		

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量	489 t	174 t
優良認定処理業者への処理委託量	50 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	438 t	174 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>汚泥 減容率の向上 油泥の再利用</p> <p>廃プラスチック類 有価リサイクル引き取り先の開拓</p>		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】		
産業廃棄物の種類	木くず	廃油
全処理委託量	23 t	137 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	137 t
再生利用業者への処理委託量	23 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>木くず サイズを揃えて再使用業者に売却</p> <p>廃油 浮上油回収装置の設置 油圧設備の漏れ防止</p>		

① 現状

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	全処理委託量	22 t	133 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	133 t
	再生利用業者への処理委託量	22	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
木くず プラスチック素材への材質変更 廃油 油圧設備の漏れ防止			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類（廃タイヤ）
	全処理委託量	2 t	6,460 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

		(これまでに実施した取組)	
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず 飲料空瓶の業者返却 LED管球への更新	
		廃プラスチック類 (廃タイヤ) 空調管理、原材料品質管理	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類 (廃タイヤ)
	全処理委託量	3 t	6,266 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3 t	6,266 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
ガラス・コンクリート・陶磁器くず LED管球への更新			
廃プラスチック類 (廃タイヤ) 設備精度向上			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t

		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	-	-	
	全 処 理 委 託 量	t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

廃棄物処理フロー

タイヤ製造工程

